

事務事業評価シート

評価実施年度：平成29年度

上位の施策名称	施策Ⅱ-1-7 災害に強い県土づくり
---------	-----------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	道路維持課長 大賀隆宏	電話番号	0852-22-5187
----------	-------------	------	--------------

事務事業の名称	冬道バリアフリー事業		
目的	(1) 対象	積雪・凍結時の道路利用者	
	(2) 意図	冬期における道路交通の安全を確保する	
事業概要	冬期における円滑な道路交通空間を確保するため、 ①除雪及び凍結路面対策を行う。 県保有除雪機械の増強及び老朽化機械の更新を行う。 ②雪崩対策等、必要なハード整備を行う。		

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名	除雪機械1台あたりの受け持ち延長	目標値	6.8	6.8	6.8	6.8	km
	式・定義	除雪すべき道路延長/車道除雪機械台数	実績値	6.8	7.0			
			達成率	-	97.1	-	-	%
2	指標名		目標値					
	式・定義		実績値					
			達成率	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b)(千円)	1,665,553	1,143,365
うち一般財源(千円)	947,590	669,372

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した(実施予定、一部実施含む)
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状(客観的事実・データなどに基づいた現状)

①除雪関係事業
過去3年間の年度別「述べ除雪延長」と「除雪出動日数」はH26:12,117km(59日)、H27:14,616km(37日)、H28:17,125km(38日)となっている。

②雪崩防止対策は、平成8、9年度の道路防災総点検に基づく、要対策箇所32ヶ所のうち、15ヶ所が完了(整備率15/32ヶ所=47%)しているが、残りの17箇所については、平成24年以降、除雪で対応することにより、雪崩対策と同等の安全性が確保できている。

なお、平成8、9年総点検の危険箇所ではないが、除雪対応だけでは安全確保が困難な箇所の対策(堆雪幅の確保、スノーシェルターの設置等)を行っている。

6. 成果があったこと(改善されたこと)

①平成29年1月23日~24日の大雪では松江市を中心に一時交通の混乱が見られたが、それ以外は大きな混乱もなく適切な除雪活動により冬期の通行安全性を確保した。また、1月の大雪をうけて2月に関係機関との会議を開催し連携の在り方等の確認を行った。

②平成28年度は、堆雪帯の確保と線形(平面・縦断)改良を合わせた複合的な対策工事や、スノーシェルター等の整備により、一定の安全性を確保した。

H28事業概要
 施工箇所...4ヶ所 事業費 171,000千円
 ・県道印賀奥出雲線
 堆雪帯の確保(L=200m)
 ・国道186号
 スノーシェルター設置(L=20m)
 ・国道432号
 雪崩予防柵設置(L=17.5m)
 ・県道三瓶山公園線
 消雪施設取水ポンプ取替(N=1基)

7. まだ残っている課題(現状の何をどのように変更する必要があるのか)

①困っている「状況」
 ①大雪の際には除雪作業が遅れ円滑な道路交通空間の早期確保が出来ていない。
 ②1箇所当たりの事業期間が長期化する傾向にある。

②困っている状況が発生している「原因」
 ①通常の降雪を超える大雪に早期に対応できるほど除雪業者に余力がない。
 ②交付金(国費)への依存度が大きく、予算の増額が難しいこと。
 雪寒地域であり施工時期に制約があること。(冬期施工が困難)
 堆雪帯確保と線形改良を合わせた複合的な対策工事は、工事量が多いこと。

③原因を解消するための「課題」
 ①大雪に対応するには限界があり、車の運転者に降雪時への備えを促すとともに、現状の除雪水準を維持するため、除雪委託先の維持経費負担の軽減、オペレータの育成が必要である。
 ②工区設定にあたっては、除雪による効果も勘案して施設計画を検討し、コスト縮減と効果の早期発現に努める。

8. 今後の方向性(課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

①除雪水準を維持するため引き続き、県保有除雪機械の増強やオペレータ育成のための講習会の開催をはじめとする除雪業者負担軽減策を実施し、持続可能な除雪体制の確保を図っていく。また、高速道路の代替ルートとなる路線等重要路線について、関係機関との連携を含めた除雪体制の強化を図る。また、例年実施している車の運転者へ早期に降雪の備えを促す広報等を継続して取り組む。

②雪崩防止対策事業は、除雪や凍結防止対策等による効果も勘案した多様な対策による効率的な整備を進める。